

# Daily Report (号外)

## ～FOMCの結果について～

### 概要

米連邦準備制度理事会(FRB)は、3月16-17日の米連邦公開市場委員会(FOMC)において、フェデラルファンド金利(FF金利)の誘導目標を0～0.25%に据え置き、資産購入については月額1200億ドルを維持しました。経済見通しでは景気回復が加速するもののインフレ率の上昇は一時的であるとの予想を示しました

声明文に大きな変更はなく、物価の安定と雇用の最大化に向けて強力な緩和を続ける方針を改めて表明しました。また、注目の集まるSLR(補完的レバレッジ比率)の特例措置に関する方針は示されず、数日中に何らかの発表をするとの発言に留められました。特例措置は2020年4月からの1年間限定で銀行が追加資本を積み増さずに国債を保有しやすくなる措置ですが、期限の延長を見送った場合は金利上昇につながるものが警戒されています。

FOMC参加者の経済見通し(中央値ベース)では、経済対策やワクチン接種の進展を受けたGDP成長率の上方修正と失業率の下方修正が示されました。インフレ率に関しては、2021年は一時的に2%超の水準まで上昇するものの、2022年以降は減速すると予想し、市場では政策金利の見通しに影響を与えないとの見方が広がりました。

FF金利予測(ドットチャート)については、2023年の利上げを予想する参加者が18人中7人となり、前回会合の5人から増加しましたが、中央値は2023年まで現状維持(0.125%)となっています。

図表1 FOMC参加者の経済見通し  
(中央値ベース)

	2021年	2022年	2023年	長期見通し
GDP成長率	6.5%	3.3%	2.2%	1.8%
(前回12月)	4.2%	3.2%	2.4%	1.8%
失業率	4.5%	3.9%	3.5%	4.0%
(前回12月)	5.0%	4.2%	3.7%	4.1%
PCEデフレーター*	2.4%	2.0%	2.1%	2.0%
(前回12月)	1.8%	1.9%	2.0%	2.0%
コアPCEデフレーター*	2.2%	2.0%	2.1%	-
(前回12月)	1.8%	1.9%	2.0%	-
FFレート	0.125%	0.125%	0.125%	2.5%
(前回12月)	0.125%	0.125%	0.125%	2.5%

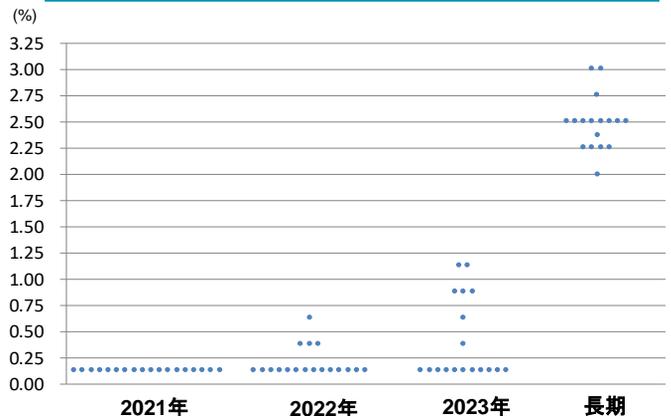
※GDP成長率、PCEデフレーター、コアPCEデフレーターは各年10-12月期の対前年比、失業率は10-12月期の平均値、FFレートは各年末ベース

\*PCEデフレーター:個人消費の物価動向を示す指標。個人消費支出のデフレーターであり、名目PCEを実質PCEで割ったもの。

コアPCEデフレーター:PCEデフレーターから、価格変動が激しい食品とエネルギーを除いたもの。

出所:FRB

図表2 FOMC参加者のFF金利予測  
(ドットチャート)



出所:FRBより弊社作成

### 市場の反応

米国株式市場では、緩和的な金融政策が景気回復と株式市場の支援材料になるとの期待が高まり、NYダウが最高値を更新し、前日比189.42ドル(+0.58%)高の33,015.37ドルで終わりました。米国債券市場では、FOMC後は金利低下で反応しましたが、前日比ではまちまちの動きとなりました。早期利上げ観測が後退したことから短期金利が低下したものの、長期金利は小幅に上昇し、10年国債金利は1.64%で終わりました。外国為替市場ではドル安が進行しています。

# Daily Report(号外)

## NYダウの推移



## 米国10年国債利回りの推移



(期間)2019/12/31~2021/3/17、(出所)Bloomberg

## 評価及び今後の見通し

今回のFOMCは総じてハト派(緩和的)な内容と見られています。FF金利予測では2023年の利上げを予測する参加者が増えたものの、中央値が現状維持となったことやインフレ率の上昇が一時的との見方が示されたことにより、市場の早期利上げ観測は後退しています。

今後は、FRBが長期金利の上昇を抑制できるかが焦点になると考えています。大規模な国債供給や市場の期待インフレ率の上昇が長期金利の上昇要因になりますが、長期金利の更なる上昇が続いた場合はFRBの政策修正が早まる可能性もあります。また、数日以内に発表することが示唆されたSLRの特例措置の延長有無にも注目が集まっており、延長が見送られた場合は銀行が国債の保有を減らす調整に迫られ、長期金利の上昇要因となる懸念があります。

## (ご参考)今後の主要イベント

	日本	米国	欧州	その他
4月	26-27日:金融政策決定会合	27-28日:FOMC	22日:ECB理事会	
5月			月中:EU首脳会議	月中:イラン大統領選挙

出所:Bloomberg